

第69回 個別化医療における認定再生医療等委員会 議事録

開催日時：令和8年5月14日（木） 16：00～16：45

場所：医療法人社団博心厚生会東京キャンサークリニック9階

及び各自所在地をWebで結んでのZoom会議

参加者：【委員】笹田 亜麻子 （区分a-1：審査対象医療機関、委員会設置者との
利害関係あり）

水上 治 （区分a-1）

長谷川 記子 （区分a-2）

石井 麦生 （区分b）

小玉 大介 （区分b）

蓮沼 友子 （区分c）

計6名

【オブザーバー】阿部 みな子 （区分a-1、委員会設置者との利害関係あり）

計1名

定刻になり、委員・オブザーバー全員と回線がつながっていることを確認し、議長に選出された阿部みな子からの開会の挨拶の後、委員会成立要件（1. 5名以上の出席 2. 男女各1名以上の出席 3. 再生医療について十分な科学的知見及び医療上の知識を有する医師の出席 4. 法律の専門家の出席 5. 一般の立場の委員の出席 6. 審査対象医療機関と利害関係のない委員過半数の出席 7. 認定委員会設置者と利害関係のない委員2名以上の出席）が満たされていることが確認された。

第一号議案 定期報告に関する審査

議長から1. 医療法人社団博心厚生会 ふくろうクリニック（東京都千代田区九段北1-10-9 九段VIGASビルB1F） 2. 東京キャンサークリニック（東京都千代田区飯田橋1丁目3番2号 曙杉館9階）の2院が定期報告期限を迎えることから、定期報告の審議を行う旨説明があった。

各院の再生医療提供実績報告書に基づき、事前に配布された資料を基に状況の報告がなされた。

1. 医療法人社団博心厚生会 ふくろうクリニック

【管理者：宮本 和恵／報告書受領日：令和8年3月9日】

症例数（投与数）：NK 0例（0回）、NKT（MIX） 0例（0回）、樹状 0例（0回）。

1クール終了（評価対象）NK 0例 / NKT 0例 / 樹状 0例。

今後も継続希望あり。

2. 東京キャンサークリニック 【管理者：笹田 亜麻子／報告書受領日：令和8年4月21日】

症例数（投与数）：NK 244例（505回）、NKT（MIX） 128例（373回）、樹状 128例（437回）。

1クール終了（評価対象）NK 35例 / NKT 41例 / 樹状 55例。

今後も継続希望あり。

診療所からの報告書に基づき、内容の確認に入り、一旦笹田医師が退室した。投与の無かった 1. 院についての今後の提供継続を参加委員一同異議なく挙手により承認した。

その後投与数の多かった 2. 院について、2. 院の管理者である笹田医師が再入室し、効果判定に対する評価基準の説明があり、それを受けて質疑応答を行った。

Q1. 1つの症例の治療前・後において、いくつかの腫瘍マーカーの数値のうち、一部の数値は上がり、一部は下がるというデータが見られる方が複数名いるが、これはどう解釈すればよいのか？
→（笹田）腫瘍マーカーが上がる原因は、2つ考えられる。1つは単純にがん細胞が増えたから数値が上がるというケース、もう一つは、免疫細胞によってがん細胞が崩壊する際に、癌細胞の中のたんぱくが放出された場合。そのため、腫瘍マーカーに変動がある場合には、可能な限り画像やQOLまで含めたその他の所見を総合的に判断しながら、効果を探ってゆくという事になる。本当なら、すべての患者の画像データ等を逐一確認できれば良いが、標準治療を行う医療機関からの提供を受けられないケースもあり、その場合は経験による総合的判断となり、判断は難しい。

Q2. 再発予防を目的に治療を受けている方が数名いるが、これは一旦寛解となった方は何年後でも、再発予防という表現になるのだろうか？
→今回の症例にもあるが、寛解後10年以上経過した後であっても、再発予防で間違いはない。

Q3. 表中にある進行がんという表記に対する基準はどういったものか？
→ステージⅢ、Ⅳと判断されている方々に対して使っている表現である。

質疑応答が終了し、2. 院の管理者である笹田医師は退室した。2. 院についての定期報告及び今後の提供継続について決を採ったところ、参加委員一同異議なく挙手により承認した。

第二号議案 医師追加登録等に関する審査

議長から、さくらクリニックから医師の追加及び退職に伴う医師の削除、サンテクリニックから実施医師3名の追加及び実施責任者の変更及び退職等に伴う医師3名の削除を行いたいとの申し出があった旨、説明があった。

1. さくらクリニック
削除：堀 和弘医師（退職）
追加：脇山 清香医師
2. サンテクリニック
削除：吉田 治医師、山本 晋士医師、佐藤 隆弘医師

追加：高澤 博和医師、西大篠 文一医師、亀谷 加純医師

実施責任者：佐藤 隆弘医師 → 高澤 博和医師

さくらクリニック及びサンテククリニックは、同一法人が開設する2院である。追加する医師 計4名につき、事前に送付していた履歴書を基に、再生医療実施に携わって良いかどうか、審議を行った。

いずれの医師についても、既に院に入職したうえで、経験のある医師の指導を受けてきていること、また新たに実施責任者となる高澤医師については、再生医療について豊富な経験と知識があると思われることから、特に疑義は無かった。役務提供者が当委員会審査業務とは無関係であることを確認の上で採決を行ったところ、一同異議無くこれに同意した。

以上をもってすべての議事は終了し、阿部みな子は閉会を宣した。

以上
(16時45分)